

住之江采「GI第49回高松宮記念特別競走」来月2日開幕

地元GI初制覇へ挑む

①

ダイヤモンドカップではGI初制覇を成し遂げた。次なる目標は当然ながら地元でのGIタイトル奪取だ。

上條暢嵩(27)大阪

住之江ボートの「GI第49回高松宮記念特別競走」

は9月2日から7日まで6日間に渡って熱戦が展開される。毒島誠、石野貴之、

気合の走りで存在感見せる

こ、8月の鳴門を含めて今年(こ)まで9優出して4V。8月の段階ですでに昨年の優勝回数(4V)に並ぶなど、好ペースを刻む。

「8月の時点で4回優勝できているのはペース的にも去年より早いし、リズムもいいですね。エンジンを

自分なりに調整ができて、それが優勝という形につながっているんだと思う」

強豪ぞろいの大阪支部の中で木下翔太、山崎郡らとともにメキメキと頭角を現すと、2018年の高松宮記念でGI初優出(4着)。その翌年4月の下関

ど、気合は入ります。結果もそうですが、自分が見得できる走りがしたい」

今年4月の当地65周年(準優6着)以来のGI戦。トップレーサーを撃破して存在感を示す。

(渡辺宏幸)

浜野谷憲吾ら初日と2日目に行われるドリム組が主力を形成するが、その他にも好メンバーがずらり。当欄では地元GI初Vを狙う大阪支部トリオを取り上げたい。まずは上條から。

◇

上昇一途の「浪速のプリンス」が悲願の地元GI制覇へ挑む。上條は2場所連続Vを飾った7月のびわ

9/234567
木金土日月火



今年すでに4Vと好調な上條。勢いに乗って地元GI初制覇を狙う